

資料 2

「にっこり安心プラン」の進捗状況等について

◎趣旨

「にっこり安心プラン（宇都宮市高齢者保健福祉計画・宇都宮市介護保険事業計画）」に基づく、令和5年度の進捗状況及び令和6年度の実施状況を取りまとめたことから、その内容について報告するもの

令和7年2月20日
保健福祉部 高齢福祉課

1 計画の進捗管理について

〔基本的な考え方〕

- 新たな「にっこり安心プラン（令和6～8年度）」の策定に際し、前期計画（令和3～5年度）の取組状況の評価は、令和5年度上半期に実施している。
- このため、令和5年度の進捗管理については、基本目標の達成に大きく寄与する「主要事業」と「自立支援・重度化防止に資する事業」について、取組結果の報告を行う。
- また、今期計画の初年度である令和6年度について、主な新規・拡充事業の現時点の取組状況の報告を行う。

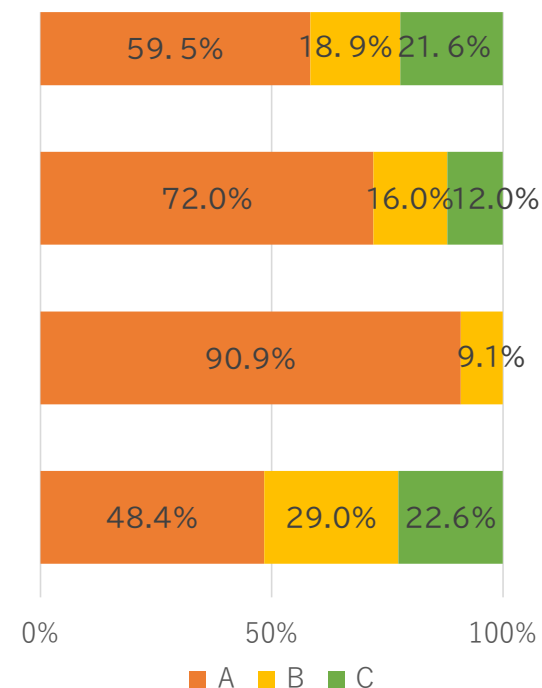
令和5年度（前期計画）の取組結果について

2 令和5年度（前期計画）の指標の達成状況

基本目標	事業	A	B	C	合計
基本目標1	全体	22(16)	7(13)	8(8)	37
	主要事業	3(2)	1(3)	1(0)	5
	自立支援・重度化防止	3(0)	2(5)	2(2)	7
基本目標2	全体	18(16)	4(6)	3(3)	25
	主要事業	4(3)	0(1)	0(0)	4
	自立支援・重度化防止	2(1)	1(2)	0(0)	3
基本目標3	全体	30(27)	3(5)	0(1)	33
	主要事業	1(0)	3(3)	0(1)	4
	自立支援・重度化防止	10(6)	1(4)	0(1)	11
基本目標4	全体	15(20)	9(5)	7(6)	31
	主要事業	2(3)	1(0)	1(1)	4
	自立支援・重度化防止	1(1)	1(1)	2(2)	4

※ 括弧内は、前期計画期間の総評価

【構成比】



【基準】

	指標の達成率
A(順調)	90%以上
B(おおむね順調)	70%以上90%未満
C(やや遅れている)	70%未満

3 令和5年度（前期計画）の取組結果

基本目標 1 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

達成状況	A	B	C	合計
全体	22(16)	7(13)	8(8)	37
主要事業	3(2)	1(3)	1(0)	5
自立支援・重度化防止	3(0)	2(5)	2(2)	7

◆主な成果

主要事業	高齢者外出支援事業 (指標) 交付者数 達成率 118.8%	70才以上を対象に、路線バスと地域内交通の乗車に利用できる1万円分の福祉ポイントを交通系ICカード「totra」に付与しており、令和5年度はライトライン開業に伴い利用交通機関が増えたことで目標を達成した。
自立支援・ 重度化防止	介護予防普及啓発事業 (指標) はつらつ教室参加者数 達成率94.1%	介護予防教室について、市内全地区での参集方式の開催に加え、オンラインによる開催を実施するなど、参加しやすい環境づくりに取り組んだことにより、目標値に近い達成状況となった。

3 令和5年度（前期計画）の取組結果

◆主な課題と対応 ※達成状況がCのもの

主要事業	シルバー人材センター事業の支援 (指標)会員数 達成率 67.7%	課題:更なる会員の確保とDXの推進 引き続き、就業ニーズに合わせた職種や働き方の充実、就業機会の創出のほか、センターのデジタル化、会員を含めた高齢者のデジタルリテラシー向上に向けた支援を行う。
自立支援・ 重度化防止	訪問型・通所型サービスC (指標)訪問型サービスC 延利用者数 達成率 68.8%	課題:地域における介護予防事業の充実 今後は、生活機能改善のための介護予防プログラムである「サービスC」と、運動・レクリエーションを行う「はつらつ教室」との対象者の基準を明確にするなどより、地域包括支援センターを中心に適切なプログラムの利用促進を図る。
自立支援・ 重度化防止	地域リハビリテーション活動支援事業 (指標)自主グループへの リハビリテーション専門職 派遣回数 達成率 36.7%	課題:効果的なリハ職派遣内容等の整理 要支援者等が生活機能の改善に意欲的になれるよう、地域包括支援センターが行う介護予防ケアマネジメント等の機会を通して、当該事業の積極的な活用を促すとともに、効果的なリハ職派遣内容等について整理する。

3 令和5年度（前期計画）の取組結果

基本目標2 「地域で支え合う社会の実現」

達成状況	A	B	C	合計
全体	18(16)	4(6)	3(3)	25
主要事業	4(3)	0(1)	0(0)	4
自立支援・重度化防止	2(1)	1(2)	0(0)	3

◆主な成果

主要事業	地域包括支援センターの運営強化 (指標)「事業評価」の達成できている項目が全項目8割以上であるセンター数 達成率 96.0%	令和5年4月に世代や分野を問わない保健と福祉のまるごと相談窓口「エールU」を開設するとともに、複雑化・複合化した課題に対し、他分野にまたがる支援機関のネットワークを活用し円滑に対応できるよう、各種研修の開催やセンター担当者会議やセンター長会議で意見の吸い上げを行い、職員の対応力の向上を図った。
自立支援・ 重度化防止	地域ケア会議の推進 (指標)地域課題検討会開催回数 達成率 130.8%	「地域課題検討会議」において、第2層協議体と連携を図りながら地域課題の把握や解決策の検討を行うとともに、「個別課題検討会議」において、高齢者個々のケースに応じて専門職等と連携し、個別・具体の支援を行うなど、各種課題の解決等につながった。

3 令和5年度（前期計画）の取組結果

基本目標3 「介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現」

達成状況	A	B	C	合計
全体	30(27)	3(5)	0(1)	33
主要事業	1(0)	3(2)	0(2)	4
自立支援・重度化防止	10(6)	1(2)	0(3)	11

◆主な成果

主要事業	地域住民への普及啓発 (指標)在宅療養に関する講座の参加者数 達成率 86.4%	人生の最終段階におけるケアのあり方や在宅での看取りなどについて考え、身近な家族などと話すことができる「人生会議」を中心に、出前講座の開催希望が増えてきており、引き続き在宅療養について市民の理解促進を図る。
自立支援・ 重度化防止	医療・介護関係者の情報共有の支援 (指標)人生の最期を在宅(医療機関以外)で迎える市民割合 達成率 119.1%	出前講座などによる市民の在宅看取りの理解促進に加え、医療・介護従事者のスキルアップや顔の見える関係づくりに取り組むとともに、ICTツール「どこでも連絡帳」を活用した医療・介護従事者間での迅速な情報共有など、在宅療養の対応力が向上したことにより、目標達成につながった。 ※目標値27.2%に対し実績値32.4%

3 令和5年度（前期計画）の取組結果

基本目標4 「いつまでも自分らしさを持ち，自立した生活の実現」

達成状況	A	B	C	合計
全体	15(20)	9(5)	7(6)	31
主要事業	2(3)	1(0)	1(1)	4
自立支援・重度化防止	1(1)	1(1)	2(2)	4

◆主な成果

主要事業	認知症サロンの推進 (指標)延べ利用者数 達成率 110.6%	認知症サロンにおいて，クリスマス会や子ども向け学習教室の開催を通じた認知症高齢者と地域住民の交流や， 地域住民への積極的な事業周知に取り組んだことにより，着実に利用者が増加し，目標を達成した。
自立支援・ 重度化防止	認知症早期発見チェックリスト等の配布 (指標)認知症早期発見リーフレット配布部数 達成率 100%	市民が生活の様々な場面で認知症について知るきっかけとなるよう，認知症早期発見リーフレットを市有施設や関係団体に設置し，周知啓発を図ることができ，目標を達成した。

3 令和5年度（前期計画）の取組結果

◆主な課題と対応 ※達成状況がCのもの

主要事業 兼 自立支援・ 重度化防止	「もの忘れ相談会」の開催 (指標)地域包括支援セン ターに引き継いだ相談件 数 達成率 37.5%	課題: <u>「もの忘れ相談会」参加機会の充実</u> 継続した支援等が必要な相談者については、地域包括支援セン ターへ適切に繋いでおり、より多くの認知症に不安を抱える本人・ 家族が気軽に相談できるよう、 もの忘れ相談会の開催地域や開催 施設を工夫 するなど、多様な相談機会の提供に取り組む。
自立支援・ 重度化防止	認知症初期集中支援チー ムの運営 (指標)支援終結チーム数 達成率 40.0%	課題: <u>認知症初期集中支援チームの運営強化</u> 新たに2チームが立ち上がり、必要な支援を行っている。 より効果的・効率的な支援が行えるよう、 引き続き、研修の受講 促進や実施体制の強化 を図っていく。

令和6年度（今期計画）の取組の進捗状況について

※別添 にっこり安心プラン概要版 P4～P7（施策・事業の展開）を参照

5 令和6年度の主な新規・拡充事業の取組状況

・ 基本目標 1 健康で生きがいのある豊かな生活の実現

(1) 介護予防普及啓発事業

【取組方針】

- ・ パンフレット等の配付による、介護予防の知識や技術を普及
- ・ オンラインや参加者の体力測定等のデータを活用し、地域ごとに実施する「介護予防教室(はつらつ教室)」や、地元プロスポーツチームと連携した「いきいき健康教室」などの開催

【取組状況】

- ・ 介護予防事業の案内パンフレットを作成し、介護保険被保険者証や国民健康保険の高齢受給者証とともに発送する等、普及啓発を図った。
- ・ はつらつ教室終了後に11グループが自主グループとして新規に立ち上がったほか、オンラインによる教室を実施することで、介護予防教室への新たな層(前期高齢者、男性など)の参加促進につながった。
- ・ いきいき健康教室に参加することで、自分に合った健康づくり・介護予防の手法を見つける動機づけとなるため、引き続き、市民のニーズやプロスポーツチームの希望も考慮し、実施回数等を検討していく。

はつらつ教室の様子



いきいき健康教室の様子



5 令和6年度の主な新規・拡充事業の取組状況

(2) スマートフォン講座

【取組方針】

高齢者のデジタルデバイド及びデジタル機器の使用への対応として、スマートフォン講座を開催

【取組状況】

- ・ 老人福祉センター等6施設において、スマートフォンの基本操作やインターネット利用方法等について学んだ。

老人福祉センター(5施設)	全8回コース, 参加52名
茂原健康交流センター	2回, 参加26名

- ・ 今後も利用者ニーズを踏まえ、講座内容の充実に取り組んでいく。

講座の様子(ふれあい荘)



5 令和6年度の主な新規・拡充事業の取組状況

・基本目標 2 地域で支えあう社会の実現

(1) 地域包括支援センターの運営及び機能強化

【取組方針】

- ・ センターが担う支援サービスが円滑に機能するよう、デジタル技術の活用により業務の効率化
- ・ 基幹相談支援センター(高齢福祉課)による、センターが抱える困難事例への支援や好事例を用いた研修、人材育成などの機能強化

【取組状況】

- ・ タブレット端末を各センターに配備し、リアルタイムな情報提供や、リモートソフトを導入し、訪問先で記録作成が行えるよう業務の効率化を図った。
- ・ センターの各職種別会議, 担当者会議・センター長会議で好事例紹介等を行い、センター職員の対応力の向上を図った。
- ・ 引き続き、支援サービスが円滑に機能するよう、タブレット端末を活用したより分かりやすい説明や、相談支援など職員の対応力向上, 多職種連携による支援を強化するための事例検討等の研修の充実など、センターの更なる機能強化に取り組む。

タブレットのイメージ



5 令和6年度の主な新規・拡充事業の取組状況

(2) 認知症サロン(オレンジサロン)の推進

【取組方針】

認知症の人やその家族、地域の方などが気軽に集まれ、交流できる場である「認知症サロン(オレンジサロン)」を充実し、専門的な相談にも対応

【取組状況】

- ・ 令和6年4月から新たに医療機関が運営する認知症サロンを2か所開設し、市内合計6か所となり、医療分野に関する専門的な相談にも対応するなど、認知症サロンの充実を図った。
- ・ 各認知症サロンにおいて、クリスマス会や子ども向け学習教室の開催を通じた認知症高齢者と地域住民の交流や、地域住民への積極的な事業周知に取り組み、利用者は増加してきている。
- ・ 引き続き、各認知症サロンと連携を図り、市民へ広く周知を図るとともに、地域における相談や交流の機会の充実に取り組む。

JCHOオレンジサロンの様子



オレンジカフェろとすの様子



5 令和6年度の主な新規・拡充事業の取組状況

・基本目標 3 介護サービスが創る笑顔あふれる社会の実現

(1) 新規就労者の確保(介護人材の確保)

【取組方針】

県や介護関係団体と連携しながら、介護職への理解促進や事業所等の人材確保に資する取組を支援

【取組状況】

- ・ 高校生に市内企業や仕事の魅力を体験してもらう、市主催の「じぶん×未来フェア」において、県ホームヘルパー協議会と連携したブースを出展し、介護現場に関する講話や介護ロボット体験を実施した。
- ・ 介護人材の不足状況や必要な支援について本市の現状を把握するため、市内介護事業所に、職員の充足度合いや外国人の雇用状況、介護ロボット等の活用状況などについてのアンケートを行った。
※アンケートにおいて、市内事業所の約半数は職員の不足感があり、「職員を募集しても応募がない」、「人材紹介会社の紹介が入職につながるが紹介料が高い」、「業界全体のイメージアップが必要」などの声があった。
- ・ 引き続き、様々な機会を捉え、介護職への理解促進に取り組むとともに、事業所へのアンケート結果等をもとに、介護人材確保の取組を進める県とも連携を図りながら、本市の取組を検討する。

じぶん×未来フェアの様子



5 令和6年度の主な新規・拡充事業の取組状況

(2) ヤングケアラーへの支援

【取組方針】

- ・ ヤングケアラーの早期発見・把握
- ・ ヤングケアラーに該当すると思われる子どもの相談を受けた場合に、必要に応じて、医療機関等の社会資源や福祉サービスに家庭をつなぐなど、個々の家庭環境に応じた支援を実施

【取組状況】

- ・ 早期発見・把握に向けて、児童生徒や保護者へチラシ配布、民生委員研修会の開催、動画を活用した教職員研修の実施の働きかけ等の周知・啓発活動に取り組んでいる。
- ・ ヤングケアラーに関する相談者に対し、ヤングケアラーコーディネーターが中心となり、個別の状況を把握し、支援が必要な家庭に対しては、家事や育児などの支援を行う「子育て世帯訪問支援事業」などを活用し、支援を行っている。
- ・ ヤングケアラーは支援が必要な場合であっても表面化しにくいことから、関係機関とのさらなる連携強化に取り組むとともに、引き続き周知啓発活動に取り組む。

研修会の様子



5 令和6年度の主な新規・拡充事業の取組状況

・基本目標 4 いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現

(1) 住宅確保要配慮者に対する居住支援

【取組方針】

住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するため、不動産関係団体や福祉団体、市で構成する宇都宮市居住支援協議会において、住まい探しに関する相談支援等を実施

【取組状況】

- ・ 住宅確保要配慮者の住まいに関するもののほか、生活支援として福祉へのつなぎ等の居住支援を実施した。(相談件数87件:令和7年1月20日現在)
- ・ セーフティネット住宅制度について、不動産事業者等に対する個別説明や居住支援セミナーによる意識啓発を実施するなど、令和6年度はセーフティネット住宅517戸(うち専用住宅20戸)(令和7年1月20日現在)を登録した。
- ・ 今後も、単身高齢者等の住宅確保要配慮者の増加が見込まれることから、セーフティネット専用住宅の登録をより一層促進するため、民間賃貸住宅大家や不動産事業者の理解促進などに継続して取り組む。



5 主な新規・拡充事業の取組状況

(2) 成年後見人等の人材の確保

【取組方針】

市民後見人養成研修を実施するなど、成年後見制度の担い手の確保

【取組状況】

- ・ 地域共生社会の実現に向けた地域福祉や権利擁護支援の新たな担い手を確保するため、後見人としての心構えや必要な知識等を習得することを目的とした市民後見人養成研修を開催した。
 - 令和5年度 基礎研修
 - 令和6年度 実践研修・現場実習を実施
 - 受講者 21名(令和7年1月時点)
- ・ 研修修了後、令和6年度末に本市の市民後見人候補者名簿に登録を行い、市民後見人の受任に向けて、引き続き、フォローアップ研修を行うなど名簿登録者の活躍の場・機会を確保する。

養成研修の様子

